



愛媛大学・四国中央市／PSブロック設置事業



製紙を基幹産業とする紙産業界にとって、製紙スラッジ焼却灰（PS 灰: Paper Sludge）の有効活用は宿命であり、長年の課題でした。従来は、土壌改良材やセメント混和材、埋め立ての資材とするのが主な利用方法でありましたが、近年、資源循環利用促進の観点から、さらなる有効活用策が求められていました。

愛媛大学紙産業イノベーションセンターでは、そうした地元のニーズに応えるため、PS 灰に凝固機能を付与する技術（特許申請中）について研究を重ね、セメント代替材として約1／3（体積比）配合したブロックの開発に成功しました。

そこで、この研究成果の普及とさらなる研究推進を図るため、連携協定を結ぶ四国中央市の協力を得て、実施事例として市営中央駐車場の舗装にPSブロック（愛称: ピースブロック[®]）を施工したものです。

製品の特徴

1. 寸法 300 mm (L) × 300 mm (W) × 80 mm (H)
2. 重量 実測値 15.8 kg/個
3. 性能 曲げ強度4 MPa (カバ[®]スカル) 以上 (JIS 規格) を達成
4. 安全性 本成品は、重金属等の特定有害物質の土壌溶出試験をクリアーしています。

平成28年1月21日

愛媛大学 社会連携推進機構 紙産業イノベーションセンター
Paper Industry Innovation Center of Ehime-university (PIICE: ピース)
四国中央市
Shikokuchuo City

*当事業は、愛媛大学と丸住製紙株式会社との共同研究により実施したものです。